

宇宙・航空科学技術推進の調整に必要な経費

1. 創設年度：平成21年度

2. 令和8年度予算額：3.6億円

3. 事業概要

本事業は、大学や民間企業等を対象に幅広く公募し、優れた取り組みを外部有識者による審査を経て選定し、採択機関との委託契約に基づき、宇宙航空分野の裾野拡大のため、研究開発、人材育成等の取組を支援するもの。〈直接実施〉

4. 選定理由：イ（事業の規模が大きく、又は政策の優先度の高いもの）

本事業については、宇宙・航空人材の育成や航空分野の研究開発が政策的優先度が高く、これまでの成果や取組状況が、事業目的に照らして適切なものとなっているか、成果目標が事業成果の検証のために適切なものとなっているかなどの点について、公開の場で外部有識者の幅広い視点や専門性を活用して検証することで、今後の事業展開について検討していくことが有効であると考えられる。

5. 想定される論点

- ・事業をより効果的に展開するための今後の方針と在り方について。
- ・事業成果検証のために適切なアウトカム、アウトプットは設定されているか。

※ 成果指標（令和7年度）

（短期アウトカム）・宇宙航空科学技術推進委託費中間報告会において、PD、POより課題の進捗について「当初予定どおり進捗している」と確認を得た割合（%）

（長期アウトカム）・外部有識者による事後評価において、A評価以上の評価を受けた割合（%）

宇宙・航空科学技術推進の調整に必要な経費

令和8年 5月13日

研究開発局 宇宙開発利用課

概要・目的

宇宙基本計画（令和5年6月閣議決定）等を踏まえ、**宇宙航空分野における開発・利用の新たな可能性開拓・裾野拡大に向け、端緒となる技術的課題にチャレンジする研究開発や、多岐に渡る知識・経験等を有する人材の育成基盤構築等を推進**することで、我が国の宇宙航空分野を支える総合的な基盤の強化に資する。

競争的研究費における取組の一環として、大学・民間企業等を対象に、以下のプログラムにおいて研究開発・人材育成等のプロジェクトを公募・採択し、着実に成果を創出する。

航空人材育成プログラム・宇宙人材育成プログラム

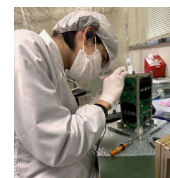
航空分野及び宇宙分野に係る高い専門性を有する人材や、多岐に渡る分野の知識・経験を有し**システム全体を理解し到達ビジョンを持って先端的かつ複雑化したプロジェクトを牽引できる人材**の育成に向けた基盤を構築・強化する。

■ **航空/宇宙専門人材育成** (事業期間：最長3年間)

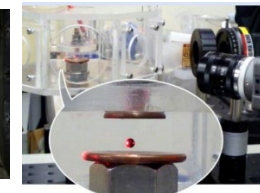
■ **地球低軌道利用のインターフェース人材育成** (事業期間：最長3年間)

■ **宇宙ビジネス人材育成** (事業期間：最長3年間)

■ **宇宙アーキテクト人材育成** (事業期間：最長5年間)



実機開発技術や最新シミュレーション技術の取得や航空/宇宙分野への応用



ライフサイエンス等の分野と宇宙分野の橋渡しとなる人材を育成

革新的航空科学技術創出プログラム (事業期間：最長3年間)

多種多様な次世代の航空機等における**安全性、信頼性、環境適合性及び経済性の向上**や新たな可能性開拓を目指し、**実用化を見据えた技術の開発・高度化や異分野連携も活用した革新技術の創出。**

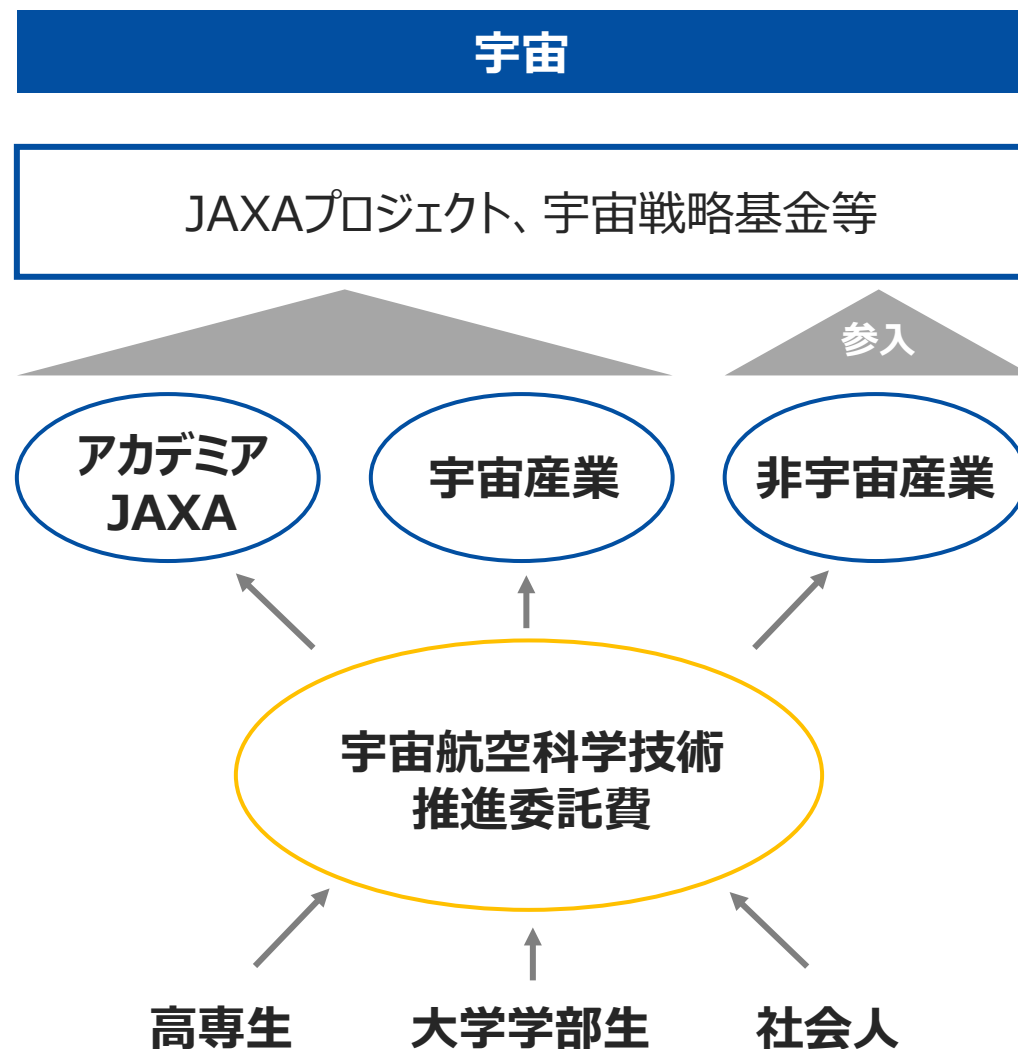
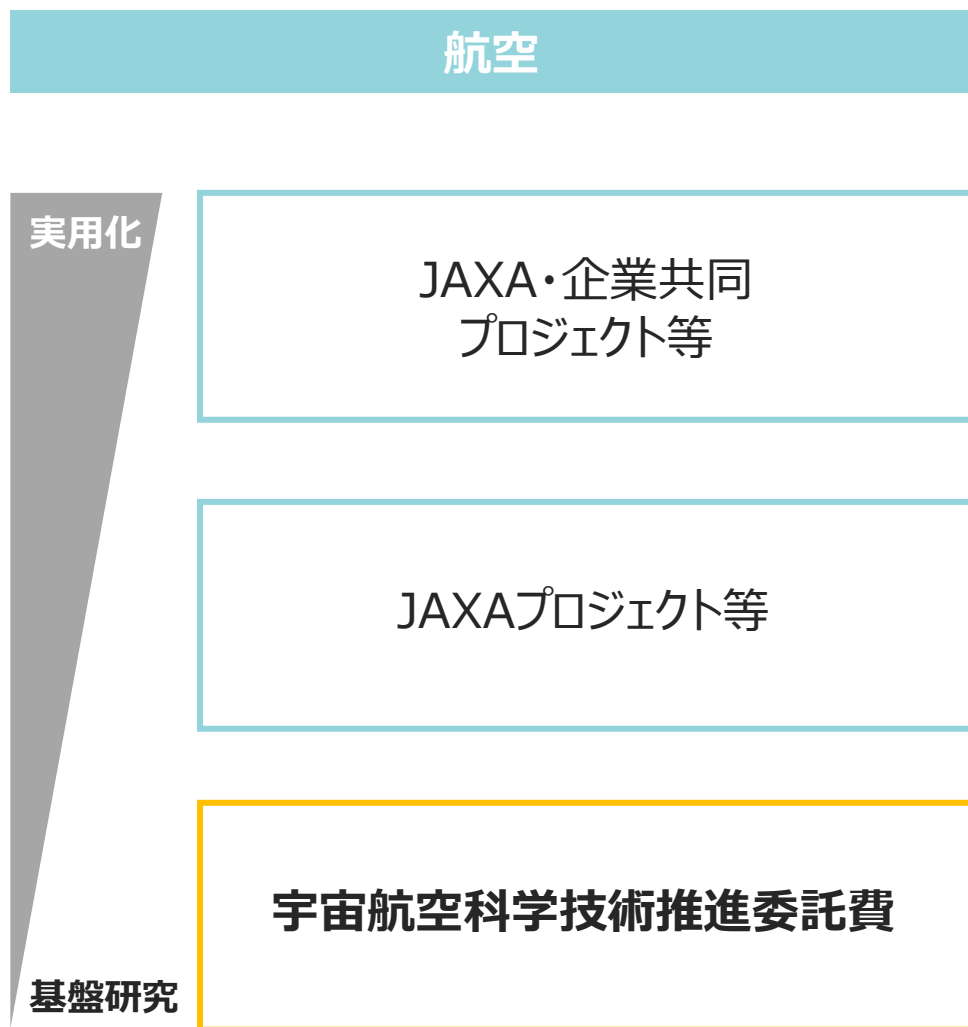


カーボンニュートラルに資する
エミッションフリー航空機 (イメージ)

航空・宇宙分野における本事業の位置づけ

航空：アカデミアでの基盤的な研究や、将来のプロジェクトにつながる技術開発を支援

宇宙：理系・文系問わず宇宙に関する知識を持った人材を育成し、分野の基盤を強化



事業の進め方

(プログラム設定)

- 中間報告・事後評価等における専門委員からの意見や、最新の政策動向等を踏まえて決定。

(選考)

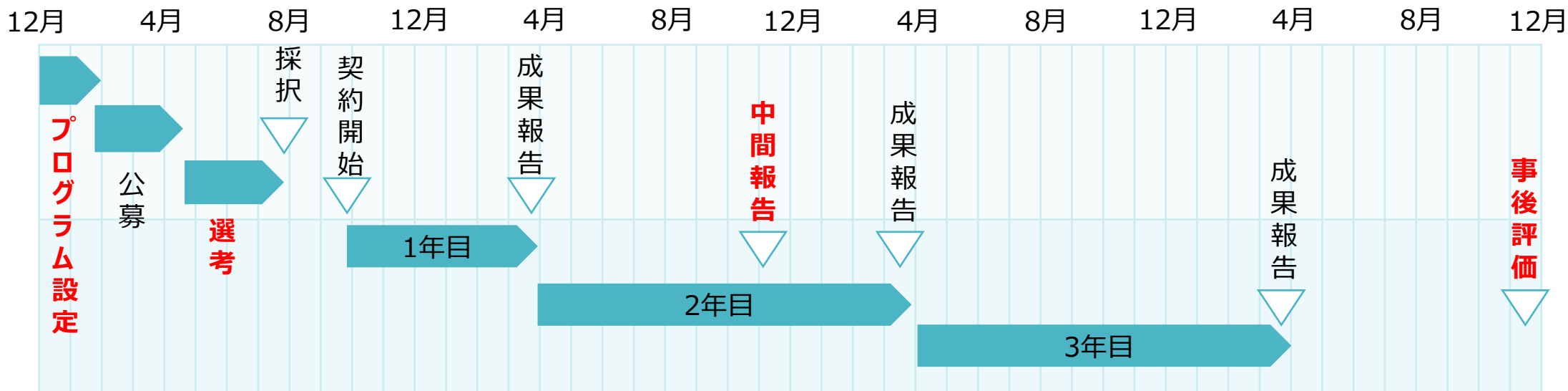
- 各応募課題の目標については、教材そのものの開発、人材の輩出、スキル標準の策定など多岐にわたるため、応募案件ごとにアウトプット・短期アウトカム・長期アウトカム目標を設定。
- それらの目標が妥当であるか、その目標を達成するための事業内容が妥当であるかは、選考時に複数名の専門委員により総合的に判断。公募プログラムごとに、評価の高い上位から採択。

(中間報告)

- 中間報告では各課題の進捗を確認し、審査委員からのフィードバックを共有。必要に応じて研究協力者の紹介などの支援を実施
- (R6年度までは中間報告にて短期アウトカムを設定。R7応募課題からは、提案時に短期アウトカムを設定)

(事後評価)

- アウトプット・短期アウトカム・長期アウトカムが事業後に達成されたか、最終的に得られたアウトプット等の評価は、事後評価にて、複数名の専門委員により総合的に判断



課題のスケジュール例

宇宙航空科学技術推進委託費の審査・評価の体制について

毎年度プログラム（公募対象とする分野）を設定し、大学や民間企業等を対象に幅広く公募。優れた取組を外部有識者による審査を経て選定・採択し、文部科学省から採択機関への委託事業として実施（プログラム内容は毎年度政策の状況等を踏まえ見直し）。

平成21年度に創設され、平成22年度から競争的資金制度（現在は競争的研究費制度）として運用している。

○審査評価会構成員

（幅広い分野の課題に対応できるよう、**企業・大学・研究機関から、専門分野も含めバランスよく委嘱**）

氏名	役職
張替 正敏（主査）	前 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 理事 兼 航空技術部門長 兼 研究開発部門長
赤松 幸生	国際航業株式会社上席フェロー
稲富 裕光	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授
栗田 佳代子	東京大学大学総合教育研究センター副センター長・教授
神武 直彦	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授
小林 訓史	東京都立大学システムデザイン学部機械システム工学科教授
続橋 聡	新むつ小川原株式会社取締役常務執行役員・企業営業本部長
平子 敬一	株式会社Orbital Lasers 技術顧問
濱田 牧子	株式会社アクセルスペースホールディングス取締役CHRO・コミュニケーション推進本部長
山本 啓一	北陸大学経済経営学部・教授
佐藤 将史	一般社団法人SPACETIDE 理事 兼 COO

本委託費の評価指標と近年の評価実績

評価指標

アウトプット

(活動目標) 宇宙航空開発利用の新たな可能性(次世代人材の育成、基盤技術の開発など)の開拓。

(活動指標) 宇宙航空開発利用の新たな可能性を開拓するための取組として公募・採択を通じて実施した課題の数

短期アウトカム

(成果目標) 宇宙航空科学技術推進委 託費中間報告会において、各年度に中間報告を行った課題の80%以上がPD、POより課題の進捗について「当初予定どおり進捗している」と確認を得ること

(成果指標) 宇宙航空科学技術推進委 託費中間報告会において、PD、POより課題の進捗について「当初予定どおり進捗している」と確認を得た割合

長期アウトカム

(成果目標) 外部有識者による事後評価において、右記の5段階評価のうち、各年度で終了した課題の80%以上がA以上の評価を得ること

(成果指標) A評価以上の評価を受けた割合
(補足)
S: 優れた成果を挙げ、宇宙利用の促進に著しく貢献した。
A: 相応の成果(※)を挙げ、宇宙利用の促進に貢献した。
B: 相応の成果を挙げ、宇宙利用の促進に貢献しているが、一部の成果は得られておらず、その合理的な理由が説明されていない。
C: 一部の成果を挙げているが、宇宙利用の明確な促進につながっていない。
D: 成果はほとんど得られていない。
(※)学術的成果が十分に得られること など

	2022	2023	2024	2025	2026		2022	2023	2024	2025		2022	2023	2024	2025
当初見込み/目標値	22	21	20	17	17	当初見込み/目標値 (%)	80	80	80	80	当初見込み/目標値 (%)	80	80	80	80
活動実績/成果実績	23	22	19	19	8月に確定	活動実績/成果実績 (%)	90	86	80	85	活動実績/成果実績 (%)	60	90	71	12月に確定
						達成率 (%)	112.5	107.5	100	107.1	達成率 (%)	75	112.5	89.2	-

プログラムの継続的改善

本事業では、中間報告・事後評価等における専門委員からの意見や最新の政策動向、応募状況等を踏まえ、毎年**プログラムの見直し**を実施している。

<最近の例>

宇宙基金発足前(R5)	R6, R7	R8
<h3 data-bbox="129 523 432 574">プログラム一覧</h3> <ul data-bbox="123 646 694 989" style="list-style-type: none">● 宇宙人材育成プログラム（各年2件程度）<ul style="list-style-type: none">● 専門人材育成● アーキテクト育成● 宇宙航空脱炭素技術等創出プログラム（1件程度）● 宇宙探査基盤技術高度化プログラム（2件程度） <div data-bbox="123 1077 627 1244" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><p>1件当たり 1,000~3,000万円程度×3年</p></div>	<h3 data-bbox="745 523 1048 574">プログラム一覧</h3> <ul data-bbox="734 638 1400 981" style="list-style-type: none">● 宇宙人材育成プログラム（各年全4件程度）<ul style="list-style-type: none">● 宇宙専門人材育成● 宇宙アーキテクト人材育成● 宇宙ビジネス人材育成● 航空人材育成プログラム（1件程度）● 革新的航空科学技術創出プログラム（2件程度） <h3 data-bbox="761 1061 996 1112">主な更新点</h3> <ul data-bbox="772 1157 1321 1276" style="list-style-type: none">● 宇宙戦略基金の創設等を踏まえ、人材育成及び航空科学技術分野の技術開発に重点化	<h3 data-bbox="1485 523 1787 574">プログラム一覧</h3> <ul data-bbox="1496 638 2139 1013" style="list-style-type: none">● 宇宙人材育成プログラム（各年全4件程度）<ul style="list-style-type: none">● 宇宙専門人材育成● 新規分野開拓人材育成● 次世代人材育成● 地球低軌道インターフェース人材育成● 航空実験基盤拡充プログラム（1件程度）● 革新的航空科学技術創出プログラム（1件程度） <h3 data-bbox="1500 1061 1736 1112">主な更新点</h3> <ul data-bbox="1512 1157 2105 1500" style="list-style-type: none">● 日本成長戦略会議に航空・宇宙WGが発足するなど、航空科学技術の重要性が高まっていることを踏まえ、航空科学技術を担う人材基盤の維持・発展を目的として、航空分野の実験基盤拡充プログラムを新設。● ISSの退役後を見据え、地球低軌道活動の利用を促進する人材を育成する地球低軌道インターフェース人材育成を新設。

以下、參考資料

(参考) プログラムごとの事後評価基準

被評価者の事後自己点検に関して、審査委員が以下 4 項目を踏まえ、5段階で総合評価を行う

事後自己点検項目(R7)

達成状況	所期の目標
	達成度
	必要性
	有効性
	効率性
成果	アウトプット
	短期アウトカム
今後の展望 (長期アウトカム)	—
自己評価点	—
評価理由	—

確認項目

- ① 業務計画の実施状況の評価
- ② 目標(アウトプット)の達成状況・有効性評価
- ③ 目的(短期アウトカム) 達成状況・有効性評価
- ④ 長期アウトカムの実現性・有効性評価

総合評価 5段階

- S) 優れた成果を挙げ、宇宙航空利用の促進に著しく貢献した。
- A) 相応の成果を挙げ、宇宙航空利用の促進に貢献した。
- B) 相応の成果を挙げ、宇宙航空利用の促進に貢献しているが、一部の成果は得られておらず、その合理的な理由が説明されていない。
- C) 一部の成果を挙げているが、宇宙航空利用の明確な促進につながっていない。
- D) 成果はほとんど得られていない。

アウトプット：育成する人物（能力・特性）や、製品・手法(性能)など、実施者の努力により得られる成果
 短期アウトカム：アウトプットにより、事後評価までにより得られる波及効果
 長期アウトカム：事後評価以降の将来、想定される波及効果

(参考) プログラムごとの採択評価基準 (令和8年度)

(1) 目的の妥当性【20点満点】

審査の視点

提案内容がプログラムの対象、実施要件に合致した内容であるか。

提案内容の短期アウトカムは公募要領に記載のある各プログラムの目的達成に繋がるものであるか。

提案内容の目標（アウトプット）は、短期アウトカムの達成に必要な十分なものであるか。

提案内容の目標（アウトプット）には適切な評価基準が算定され、その目標値には有効な根拠が示されているか。

(2) 方法・計画・体制の妥当性【10点満点】

審査の視点

提案内容における方法・計画は、目標（アウトプット）の達成に必要な十分なものとなっているか。

課題の実施に必要な人材、研究開発体制、施設・設備等が確保され、実現性が高いものであるか。

(3) ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する評価【2点満点】

審査の視点

ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する認定等又は内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を有しているか。

(4) その他【点数化しない】

他制度からの補助金、助成金等を受けている場合、その研究開発との仕分けが明確であるか。

また、既存の実施課題等との重複がないか。

(参考) 事後自己点検項目の策定について

令和6年度までは、中間報告時に事後自己点検方針を策定していたが、令和7年度からは、より早期に進捗を確認できるように、**提案時に事後自己点検の項目**（アウトプット、短期アウトカム・長期アウトカム）について策定してもらうよう、提案書の改訂を行った。

提案(R7)		中間報告(R8)	事後(R9)				
目的	背景	ー	達成状況	所期の目標	ー		
	目標(アウトプット)	人材像、必要なプログラム等		進捗・成果	必要性・有効性・効率性	文科省全体の評価方針	
	短期アウトカム	アウトプット達成の際の想定効果			業務計画の進捗	成果	アウトプットの達成状況
		事業終了後に目指す姿			目標(アウトプット)や目標値に関する進捗		短期アウトカムの達成状況
長期アウトカム	アウトプット目標の達成度判断するための指標と目標値	短期アウトカムに対する達成度	長期アウトカムの達成状況				
方法・計画・体制	方法・計画	ー	自己評価点	ー	ー		
	実施体制	参画機関等	評価理由	ー	ー		

宇宙・航空科学技術推進の調整に必要な経費

基本情報

組織情報	府省庁	文部科学省				
	事業所管課室	文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課				
	作成責任者	梅原弘史				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	001703	事業開始年度	2009	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	文部科学省	9未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応		9-5 国家戦略上重要な基幹技術の推進		https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-31.pdf
関連事業	--	主要経費		科学技術振興費		

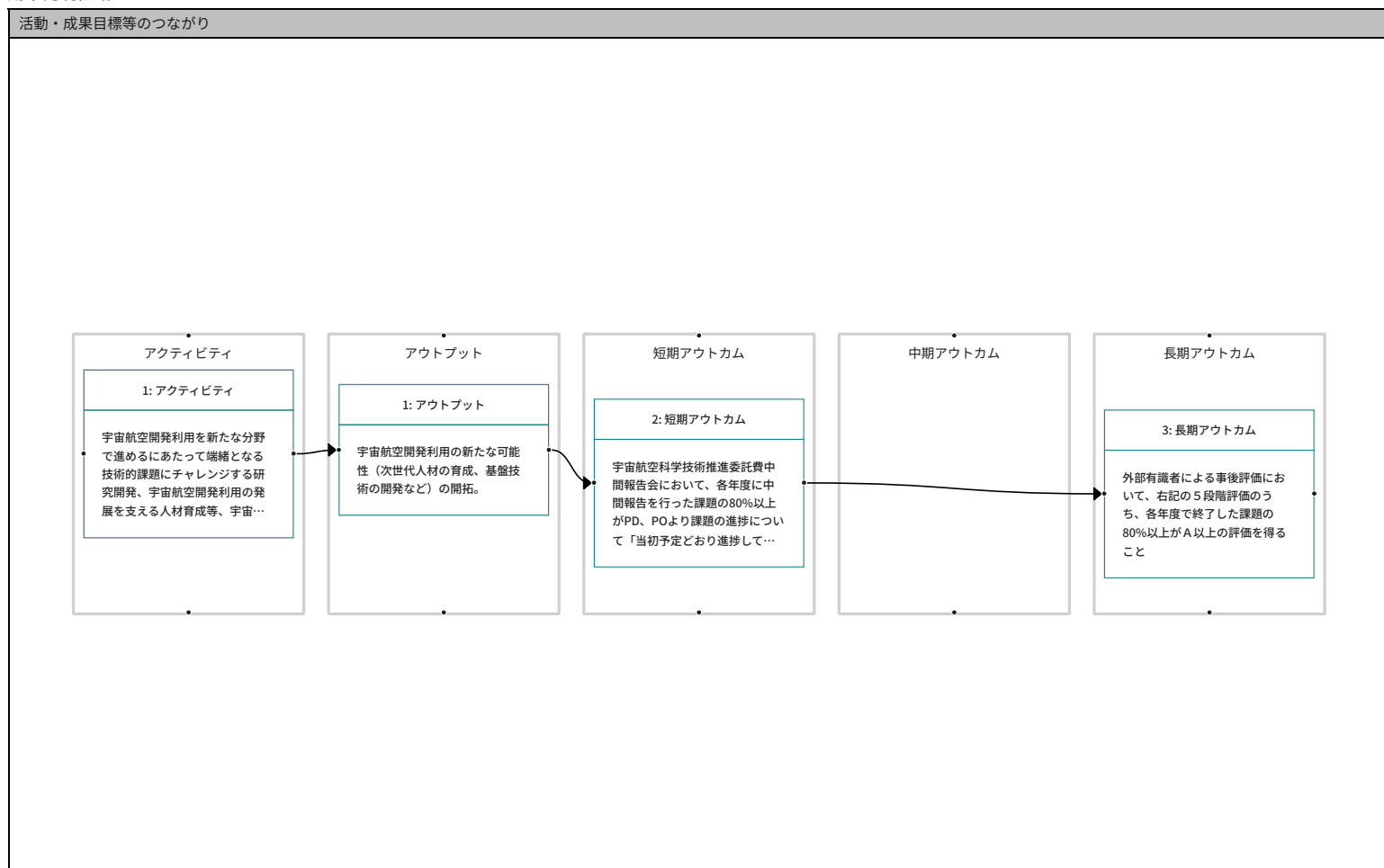
概要・目的	事業の目的	宇宙航空分野における新たな可能性の開拓や裾野拡大を目的に、宇宙航空利用を新たな分野で進めるにあたって端緒となる技術的課題にチャレンジする研究開発、宇宙航空開発利用の発展を支える人材育成等の取組を推進する。				
	現状・課題	令和4年3月に内閣府宇宙政策委員会宇宙科学・探査小委員会にて取りまとめられた「我が国の宇宙産業の拡大、小型コンステレーション時代を見据えた大学等を中心とした人材育成のあり方について」において、「総合工学に求められる統合されたシステムの実現に向けプロジェクト実施を通じ、実践的な教育を組み合わせることが必要である」等といった指摘がなされた。これを踏まえ、令和5年度からは、宇宙航空人材育成プログラムにおいて、高い専門性を有する人材の育成を進める「専門人材育成」に加え、システム全体を理解し到達ビジョンを持って、先端的かつ複雑化したプロジェクトを牽引できる人材の育成を進める「アーキテクト育成」を開始した。また、今後拡大することが見込まれる宇宙人材の需要に応えるため、令和6年度からは、特に、宇宙ビジネス人材育成プログラムを含む人材育成プログラムの強化を行った。				
	事業の概要	本事業は、大学や民間企業等を対象に幅広く公募し、優れた取り組みを外部有識者による審査を経て選定し、採択機関との委託契約に基づき、宇宙航空分野の裾野拡大のため、研究開発、人材育成等の取組を支援するもの。 令和6年度は以下のプログラムで採択した課題を実施した。なお、実施期間の上限は、宇宙航空人材育成プログラム【アーキテクト育成】と宇宙航空アーキテクト育成プログラムについては5年間、それ以外のプログラムについては3年間としている。 令和4年度採択：宇宙航空人材育成プログラム、宇宙航空脱炭素技術等創出プログラム、宇宙探査基盤技術高度化プログラム、「人文社会×宇宙」分野越境人材創造プログラム、「AI・デジタル化×宇宙」技術革新人材育成プログラム 令和5年度採択：宇宙航空人材育成プログラム【専門人材育成】、宇宙航空人材育成プログラム【アーキテクト育成】、宇宙航空脱炭素技術等創出プログラム、宇宙探査基盤技術高度化プログラム 令和6年度採択：宇宙航空専門人材育成プログラム、宇宙航空アーキテクト育成プログラム、「宇宙×人文社会」分野越境人材創造プログラム、航空脱炭素技術等創出プログラム				
	事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/space/jigyou/detail/1347482.htm				
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分	
	文部科学省組織令第七十二条	--	--	--	--	
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	宇宙基本計画(令和5年6月13日閣議決定)	https://www8.cao.go.jp/space/plan/plan2/kaitai_fy05/honbun_fy05.pdf				
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL		
	--	--	--	--		
備考	--					

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)		2022	2023	2024	2025	2026
	要求額		508,300	648,400	458,000	358,289
当初予算		458,100	458,000	358,289	358,746	--
補正予算		--	--	--	--	--
前年度から繰越し		5,000	2,600	16,552	--	--
予備費等		15,000	19,572	16,000	--	--
計		478,100	480,172	390,841	358,746	--
執行額		471,000	462,018	390,620	--	--
執行率		98.5%	96.2%	99.9%	--	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--		13,000	--
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 研究開発推進費 / 地球観測技術等調査研究委託費		--	356,168	356,168
		当初予算 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 研究開発推進費 / 職員旅費		--	1,267	1,267
		当初予算 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 研究開発推進費 / 諸謝金		--	745	745
		当初予算 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 研究開発推進費 / 委員等旅費		--	486	486
		当初予算 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 研究開発推進費 / 庁費		--	80	80
主な増減理由	--			その他特記事項	--	

効果発現経路



アクティビティからの発現経路 1-1-2-3

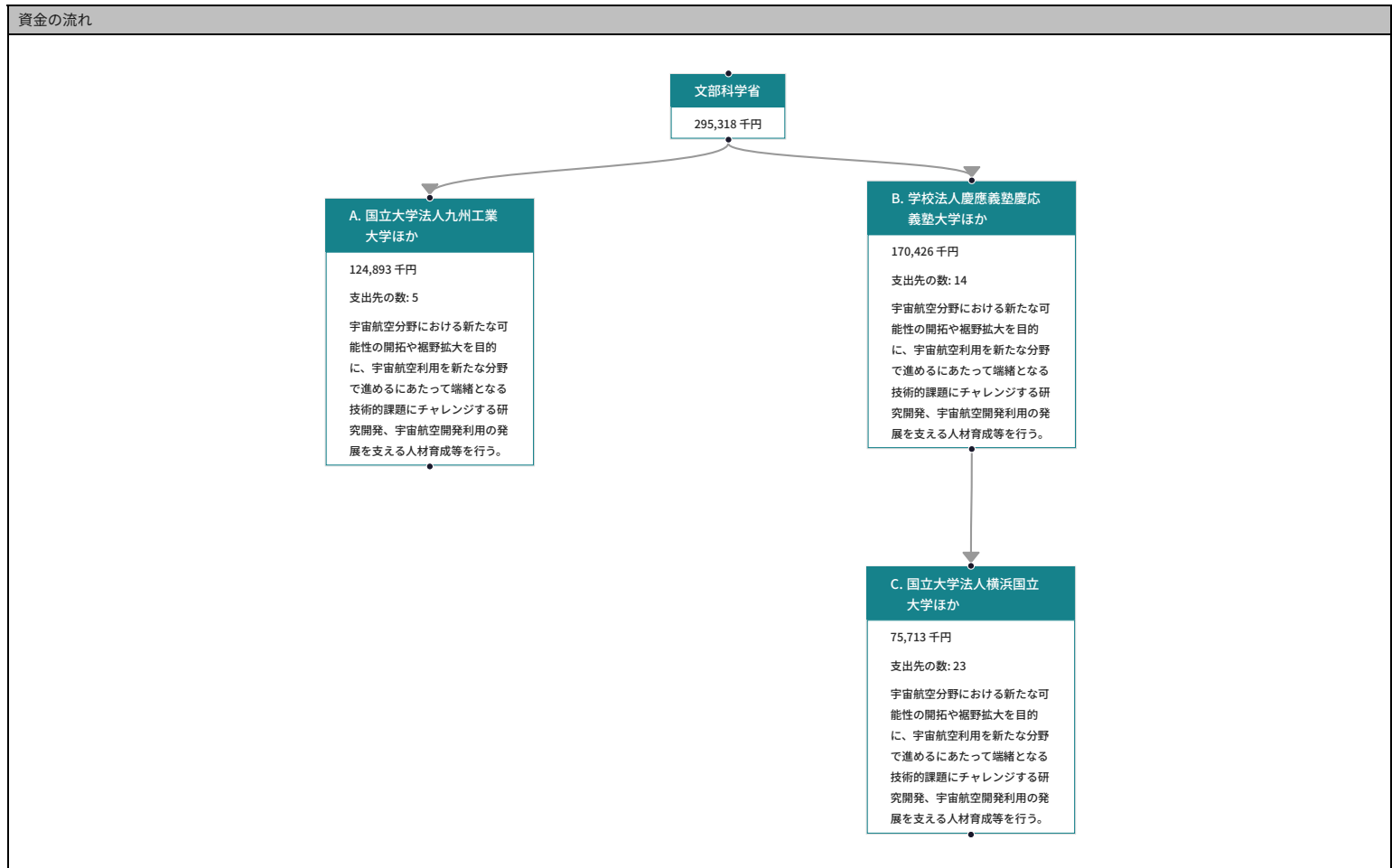
アクティビティ	宇宙航空開発利用を新たな分野で進めるにあたって端緒となる技術的課題にチャレンジする研究開発、宇宙航空開発利用の発展を支える人材育成等、宇宙航空開発利用の新たな可能性を開拓するための取組を行う。					
アウトプット	活動目標	宇宙航空開発利用の新たな可能性（次世代人材の育成、基盤技術の開発など）の開拓。		活動指標	宇宙航空開発利用の新たな可能性を開拓するための取組として公募・採択を通じて実施した課題の数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み/目標値(課題)	22	21	20	17	17
	活動実績/成果実績(課題)	23	22	19	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	宇宙航空開発利用の新たな可能性を開拓するための取組を行った成果を測定するため。					
短期アウトカム	成果目標	宇宙航空科学技術推進委託費中間報告会において、各年度に中間報告を行った課題の80%以上がPD、POより課題の進捗について「当初予定どおり進捗している」と確認を得ること		成果指標	宇宙航空科学技術推進委託費中間報告会において、PD、POより課題の進捗について「当初予定どおり進捗している」と確認を得た割合	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	宇宙航空科学技術推進委託費中間報告会におけるコメント（非公開）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度	
	当初見込み/目標値(%)	80	80	80	80	
	活動実績/成果実績(%)	90	86	80	--	
	達成率(%)	112.5	107.5	100	--	
↓後続アウトカムへのつながり	宇宙航空開発利用の新たな可能性を開拓するための取組に関して、実施期間の間での事業計画に対する進捗状況を確認するため。					

長期アウトカム	成果目標	外部有識者による事後評価において、右記の5段階評価のうち、各年度で終了した課題の80%以上がA以上の評価を得ること		成果指標	A評価以上の評価を受けた割合 ※前年度の実績は事後評価に基づき翌年3月頃確定後、記載予定（補足） S：優れた成果を挙げ、宇宙利用の促進に著しく貢献した。 A：相応の成果(※)を挙げ、宇宙利用の促進に貢献した。 B：相応の成果を挙げ、宇宙利用の促進に貢献しているが、一部の成果は得られておらず、その合理的な理由が説明されていない。 C：一部の成果を挙げているが、宇宙利用の明確な促進につながっていない。 D：成果はほとんど得られていない。 (※)学術的成果が十分に得られること など
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	宇宙航空科学技術推進委託費 終了した採択課題 https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/space/jigyou/detail/1406357_00004.htm
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み/目標値(%)	80	80	80	80
	活動実績/成果実績(%)	60	90	--	--
	達成率(%)	75	112.5	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--			
	URL	--			
	該当箇所	--			

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	本事業は、宇宙航空開発利用を新たな分野で進めるにあたって端緒となる技術的課題にチャレンジする研究開発や、宇宙航空開発利用の発展を支える人材育成等に貢献するものであり、宇宙基本計画等を踏まえ適切に募集テーマを設定している。本事業の終了課題を対象に令和2年度に実施した追跡調査において、技術創出に関しては約3割の課題が成果を社会実装に繋げており、人材育成に関しては約9割の課題が事業終了後も継続的に人材育成プログラムを運用しているとの結果を得ている。また、外部有識者から構成される審査評価会により、各課題の業務の実施状況や成果創出の状況について中間評価や事後評価を実施しており、令和6年度に行った事後評価では、評価対象の課題の90%がA評価（相応の成果を挙げ、宇宙利用の促進に貢献した。）以上の評価を獲得する等、当事業が効果的・効率的に実施されていることを確認している。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	今後の事業の実施にあたっては、予算規模と国民のニーズを踏まえつつ、宇宙基本計画等に基づき適切な募集テーマを設定し、審査評価会における評価を経て、適切に課題を推進していく。また、点検結果にも記載した追跡調査における各実施機関からの要望等や、審査評価会における外部有識者からのコメントを、本事業における今後の課題設定や事務手続の簡素化、審査の円滑化等に活用することにより、事業のさらなる効果的・効果的な実施に努めている。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2023
	対象の理由	--		
	所見	後日入力		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	この事業は、現行において特段の見直すべき内容は認められず、現在の事業を引き続き維持すべきである。
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
	詳細	引き続き事業の効率的かつ効果的な実施に努めるとともに、成果目標の達成に向けて取り組んでいく。		
公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

支出先



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A	国立大学法人九州工業大学ほか	124,893	5	宇宙航空分野における新たな可能性の開拓や裾野拡大を目的に、宇宙航空利用を新たな分野で進めるにあたって端緒となる技術的課題にチャレンジする研究開発、宇宙航空開発利用の発展を支える人材育成等を行う。
	支出先名	支出額	法人番号		
	国立大学法人九州工業大学	39,000	9290805003499		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	超小型ロケット・超小型衛星を用いた継続型早期教育プログラム 随意契約(その他)(随意契約(企画競争)にて採択された課題の進捗状況や成果等を確認し問題がなかったため契約を行った。)	39,000	0	0	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	学校法人金井学園	30,846	5210005000655		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	超小型月探査機の高度化に資するコンパクトな衛星地上局システムの開発 随意契約(その他)	30,846	0	0	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	国立大学法人京都大学	29,558	3130005005532		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	蛍光X線による月惑星の元素マッピングを高解像度化するコンパクトX線カメラの開発 随意契約(その他)	29,558	0	0	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	学校法人学習院	13,000	8013305000409		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	宇宙ルール形成に着目した文理融合×産官学連携による人材創造プログラム 随意契約(その他)	13,000	0	0	--
	支出先名	支出額	法人番号		

	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
		国立大学法人京都大学	12,489	3130005005532	
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	宇宙木材産業の創出をめざした宇宙材料としての木材利用の探究 随意契約(その他)	12,489	0	0	--
	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	B	学校法人慶應義塾慶義塾大学ほか	170,426	14	宇宙航空分野における新たな可能性の開拓や裾野拡大を目的に、宇宙航空利用を新たな分野で進めるにあたって端緒となる技術的課題にチャレンジする研究開発、宇宙航空開発利用の発展を支える人材育成等を行う。
	支出先名	支出額	法人番号		
	慶應義塾	26,988	4010405001654		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	MBSEを活用する宇宙アーキテクト育成プログラム 随意契約(企画競争)	26,988	5	100	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	合同会社パッチドコニクス	16,800	3010003023267		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	小規模事業者による宇宙探査を実現させるGNSS応用の測距・時刻同期装置の開発 随意契約(その他)	16,800	0	0	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	学校法人立命館	15,649	9130005004289		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	宇宙開発・ビジネスを先導する宇宙マネジメントプログラムの展開 随意契約(企画競争)	15,649	10	100	--
	支出先名	支出額	法人番号		

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
国立大学法人金沢大学	13,930	2220005002604			
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
高大連携宇宙AIコンペティションを通じた「インテリジェント宇宙機」開発人材の育成 随意契約(その他)	13,930	0	0	--	
支出先名	支出額	法人番号			
一般社団法人SPACE TIDE	13,660	3010005025666			
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
宇宙ビジネス人材育成のための基礎知識の体系化とカリキュラムの実践 随意契約(企画競争)	13,660	10	100	--	
支出先名	支出額	法人番号			
学校法人東京理科大学	12,470	5011105000945			
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
宇宙志向ビジネスを先導する人材を育てるBootcamp in 大分 随意契約(企画競争)	12,470	4	98.1	--	
支出先名	支出額	法人番号			
慶應義塾	12,310	4010405001654			
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
学術・産業・報道機関の連携での理論と実践による学びと成長を実現する分野越境型宇宙ビジネス人材創造プログラム 随意契約(企画競争)	12,310	10	100	--	
支出先名	支出額	法人番号			
国立大学法人東京大学	11,314	5010005007398			
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
航空エンジンの革新的燃費削減に向けたPressure Gain燃焼器の研究開発 随意契約(企画競争)	11,314	3	97.5	--	

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
支出先名	支出額	法人番号			
国立大学法人京都大学	10,422	3130005005532			
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
将来の有人宇宙活動を支える宇宙医学人材養成プログラムの創出 随意契約(その他)	10,422	0	0	--	
支出先名	支出額	法人番号			
東京都立大学法人	9,878	6011105002701			
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
脱炭素化に向けた航空機電動化のためのパワーエレクトロニクスシステムの研究開発 随意契約(その他)	9,878	0	0	--	
支出先名	支出額	法人番号			
京都府立大学法人	9,300	9130005006665			
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
CFRPの真空対応ケミカルリサイクルシステム 随意契約(その他)	9,300	0	0	--	
支出先名	支出額	法人番号			
独立行政法人国立高等専門学校機構	7,038	8010105000820			
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
全国高専宇宙工学コース設立による実践的宇宙人材育成の展開 随意契約(その他)	7,038	0	0	--	
支出先名	支出額	法人番号			
国立大学法人埼玉大学	5,431	6030005001803			
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	レーザー誘起プラズマによる大面積弱接着検出法と電気化学的弱接着改善法の開発 随意契約（企画競争）	5,431	3	100	--
支出先名		支出額	法人番号		
公立大学法人会津大学		5,237	5380005008731		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
月火星箱庭教育プログラムによる宇宙情報系人材の育成基盤構築 随意契約（その他）		5,237	0	0	--
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
C	国立大学法人横浜国立大学ほか	75,713	23	宇宙航空分野における新たな可能性の開拓や裾野拡大を目的に、宇宙航空利用を新たな分野で進めるにあたって端緒となる技術的課題にチャレンジする研究開発、宇宙航空開発利用の発展を支える人材育成等を行う。	
支出先名		支出額	法人番号		
国立大学法人東北大学		9,200	7370005002147		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
小規模事業者による宇宙探査を実現させるGNSS応用の測距・時刻同期装置の開発 随意契約（その他）（随意契約(企画競争)にて採択された課題の進捗状況や成果等を確認し問題がなかったため契約を行った。）		9,200	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社東日本計算センター		6,520	3380001013670		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
月火星箱庭教育プログラムによる宇宙情報系人材の育成基盤構築 随意契約（その他）		6,520	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
東京都立大学法人		6,231	6011105002701		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	航空エンジンの革新的燃費削減に向けたPressure Gain燃焼器の研究開発 随意契約（その他）	6,231	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
Space BD株式会社		5,690	4010401114096		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
学術・産業・報道機関の連携での理論と実践による学びと成長を実現する分野越境型宇宙ビジネス人材創造プログラム 随意契約（その他）		5,690	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
大分県		4,500	1000020440001		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
宇宙志向ビジネスを先導する人材を育てるBootcamp in 大分 随意契約（その他）		4,500	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
国立大学法人福井大学		4,030	4210005005077		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
MBSEを活用する宇宙アーキテクト育成プログラム 随意契約（その他）		4,030	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
慶應義塾		3,999	4010405001654		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
宇宙ビジネス人材育成のための基礎知識の体系化とカリキュラムの実践 随意契約（その他）		3,999	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
国立大学法人和歌山大学		3,991	6170005001780		

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
MBSEを活用する宇宙アーキテクト育成プログラム 随意契約(その他)		3,991	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
公立大学法人大阪		3,991	5120005020803		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
MBSEを活用する宇宙アーキテクト育成プログラム 随意契約(その他)		3,991	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
学校法人神野学園		3,829	5180005002201		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
将来の有人宇宙活動を支える宇宙医学人材養成プログラムの創 出 随意契約(その他)		3,829	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社日産アーク		3,569	9021001040867		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
レーザー誘起プラズマによる大面積弱接着検出法と電気化学的 弱接着改善法の開発 随意契約(その他)		3,569	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
国立大学法人横浜国立大学		3,122	6020005004971		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
脱炭素化に向けた航空機電動化のためのパワーエレクトロニク スシステムの研究開発 随意契約(その他)		3,122	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
国立研究開発法人森林研究・整備機構		3,000	4050005005317		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
CFRPの真空対応ケミカルリサイクルシステム 随意契約(その他)		3,000	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
トヨタテクニカルディベロップメント株式会社		2,470	7180301018923		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
月火星箱庭教育プログラムによる宇宙情報系人材の育成基盤構 築 随意契約(その他)		2,470	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
有人宇宙システム株式会社		2,350	5010001094250		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
宇宙開発・ビジネスを先導する宇宙マネジメントプログラムの 展開 随意契約(その他)		2,350	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
独立行政法人国立高等専門学校機構		2,210	8010105000820		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
全国高専宇宙工学コース設立による実践的宇宙人材育成の展開 随意契約(その他)		2,210	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
独立行政法人国立高等専門学校機構		2,080	8010105000820		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
全国高専宇宙工学コース設立による実践的宇宙人材育成の展開 随意契約(その他)		2,080	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
株式会社宮城化成		1,950	1370201003160		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	CFRPの真空対応ケミカルリサイクルシステム 随意契約(その他)	1,950	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
独立行政法人国立高等専門学校機構		1,300	8010105000820		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
全国高専宇宙工学コース設立による実践的宇宙人材育成の展開 随意契約(その他)		1,300	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
大分県		999	1000020440001		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
宇宙志向ビジネスを先導する人材を育てるBootcamp in 大分 随意契約(その他)		999	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
独立行政法人国立高等専門学校機構		372	8010105000820		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
全国高専宇宙工学コース設立による実践的宇宙人材育成の展開 随意契約(その他)		372	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
独立行政法人国立高等専門学校機構		155	8010105000820		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
高大連携宇宙AIコンペティションを通じた「インテリジェント 宇宙機」開発人材の育成 随意契約(その他)		155	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
国立大学法人福井大学		154	4210005005077		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	高大連携宇宙AIコンペティションを通じた「インテリジェント 宇宙機」開発人材の育成 随意契約(その他)	154	0	0	--

費目・使途 (単位:千円)	支出先名	契約概要(契約名)	費目	使途	金額
A	国立大学法人九州工業大学	超小型ロケット・超小型衛星を用いた継続型早期教育プログラム	物品費	設備備品・消耗品の購入	3,913
--	--	--	人件費・謝金	研究に係る人件費・謝金	17,329
--	--	--	旅費	研究に係る旅費	1,850
--	--	--	その他	消費税相当額、その他(諸経費)	6,512
--	--	--	間接経費	間接経費	9,000
B	慶應義塾	MBSEを活用する宇宙アーキテクト育成プログラム	物品費	設備備品・消耗品の購入	9,351
--	--	--	人件費・謝金	研究に係る人件費・謝金	8,022
--	--	--	旅費	研究に係る旅費	2,525
--	--	--	その他	消費税相当額	862
--	--	--	間接経費	間接経費	6,228
C	国立大学法人東北大学	小規模事業者による宇宙探査を実現させるGNSS応用の測距・時刻同期装置の開発	物品費	設備備品・消耗品の購入	4,980
--	--	--	旅費	研究に係る旅費	1,429
--	--	--	その他	外注費(雑役務費)、通信運搬費、その他(諸経費)	514
--	--	--	間接経費	間接経費	2,077

国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位:千円)	契約先名	契約額	法人番号
--	--	--	--

その他備考

--